

【施策評価調査】

施策名	1-1-3	宝積寺駅及び駅周辺整備事業		71	施策目的 政策「1-1. 計画的な市街地整備」を実現するためには、快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること、宝積寺駅周辺地区を整備し、利便性の向上を図ること、景観条例を制定し、良好な景観を形成すること、 ですが、そのうちこの施策については、の宝積寺駅周辺地域の機能性、快適性を向上させ、まちの玄関口としてふさわしい顔を備えた街にし、中心市街地の活性化という目的を達成するための核となる施設、という視点にたって整備を行います。
	担当部署	建設産業部都市整備課	担当 リーダー		
環境変化	宝積寺橋上駅舎及び東西連絡通路整備事業が平成19年度未だでかり完成しましたが、建設ヤードと使用されていた、駐輪場整備と町道348号線歩道整備が平成20年度事業となった。				宝積寺駅は橋上駅とし、東西連絡通路と併せて平成19年度に完成します。平成17年度に完成した「ちよつ蔵館（ホール・多目的展示場）」、駅前緑地に隣接する道路も平成19年度に舗装を行います。まちの活性化に向けて、適切な土地利用や良好な景観が形成されるよう適切な指導を行います。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：橋上駅及び関連道路の進捗率（％） 橋上駅舎・東西連絡通路	平成16年度進捗率	計画	97.7%	100.0%	100.0%		
	31.4%	実績	56.80%	99.0%	100.0%		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費（傘下事務事業費計）の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	1,120,263,000	991,547,000	24,879,000		
	決算	654,180,763	971,020,201	24,045,754		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	実施への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
駐輪場整備事業	当初 4,000,000	駐輪場の整備	A	駐輪場を増設することにより、利用者の利便性が向上するとともに、違法駐輪の解消が図られ、まちの玄関口としての顔にふさわしい景観を形成することができた。			
	決算 3,801,000	100% / 100%		今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
町道348号線歩道整備事業	当初 5,800,000	町道348号線歩道整備	A	駐輪場付近の歩道を整備することにより、利用者の安全が確保され、宝積寺駅及び周辺商店街へのアクセスが容易になり、中心市街地の活性化に寄与した。			
	決算 5,166,000	100% / 100%		今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
駅周辺整備事業 線越明許	当初 11,676,000	駅周辺整備の進捗率	A	駅前緑地の照明設置や広場への車侵入防止対策工事等により、利用者の安全が確保されるとともに、周辺地域の機能性・快適性が向上した。			
	決算 11,676,000	100% / 100%		今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
町道560号線道路整備事業 線越明許	当初 3,403,000	町道560号線道路整備進捗率	A	駅前口へのアクセス道路を整備することにより、駅周辺の交通渋滞が解消でき、利用者の利便性が向上した。			
	決算 3,402,754	100% / 100%		今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価		課題と今後の方向性	
	駅東口周辺の事業が計画的に実施され、東西自由通路と一体となり、利便性の向上が図られた。また、ちよつ蔵ホールや商業施設の利用者数が増え、新たな賑わいを創出することができ、中心市街地の活性化に寄与している。		橋上駅舎及び駅前開設後の検証を行うとともに、駅周辺整備については、他の施策との連携を図り、駅前口と一体となったランドデザインを策定し、後期計画に向けて事業を推進する必要がある。	
総合評価	計画的に整備されたことを評価する。整備後の利便性の向上等成果に関する検証を引き続き行うとともに、駅周辺整備については、しっかりとランドデザインを策定してから事業を推進することとし、後期計画に向けて当施策の方向性は再考すること。			